

みずほCustomer Desk Report 2018/04/18号 (As of 2018/04/17)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.11
TKY 9:00AM	107.06	1.2383	132.59	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.21	1.2414	132.77	1.4342	0.7776
SYD-NY Low	106.89	1.2336	132.12	1.4377	0.7791
NY 5:00 PM	107.00	1.2370	132.37	1.4283	0.7761
NY DOW	24,786.63	213.59	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,281.10	124.81	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,706.39	28.55	米国2年債	2.3919	1.26bp
日経平均	21,847.59	12.06	米国5年債	2.6890	0.86bp
TOPIX	1,729.98	▲ 6.24	米国10年債	2.8295	0.19bp
シゴ日経先物	21,905	70.00	独10年債	0.5050	▲ 1.75bp
ロンドンFT	7,226.05	27.85	英10年債	1.4355	▲ 2.65bp
DAX	12,585.57	194.16	豪10年債	2.7605	1.95bp
ハンセン指数	30,062.75	▲ 252.84	USDJPY 1M Vol	6.77	▲ 0.21%
上海総合	3,066.80	▲ 43.85	USDJPY 3M Vol	7.29	▲ 0.08%
NY金	1,349.50	▲ 1.20	USDJPY 6M Vol	7.72	▲ 0.08%
WTI	66.52	0.30	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	199.38	▲ 0.16	EURJPY 3M Vol	7.46	▲ 0.12%
ドルインデックス	89.50	0.07	EURJPY 6M Vol	8.00	▲ 0.10%

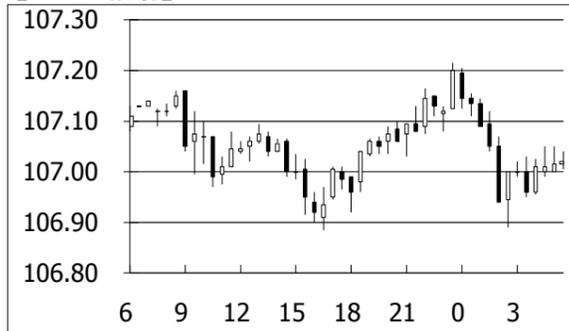
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月17日	11:00	中 GDP(前年比)	1Q 6.8%	6.8%
	21:30	米 住宅着工件数	3月 1319k	1267k
	21:30	米 建設許可件数	3月 1354k	1321k
	22:15	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演「貿易摩擦、見通しをまだ妨げていないがリスク伴う」		
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	3月 0.5%	0.3%
	23:00	米 クオールズFRB副議長 講演「ボルカー・ルールは大きな負担」		
4月18日	02:10	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演「インフレ率が持続的に2%の水準になるには1年かかる」		

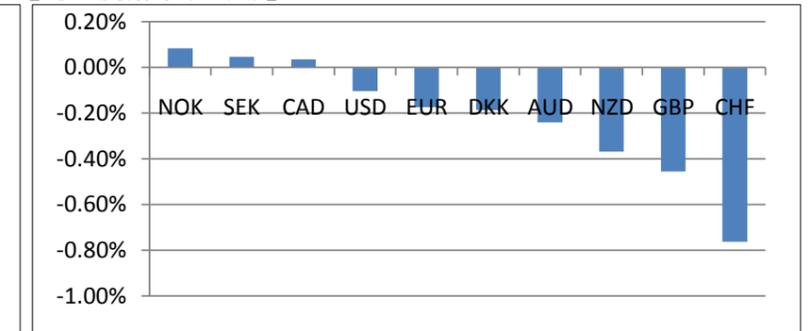
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月18日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.3%/2.7%	0.4%/2.7%
	18:00	欧 コアCPI・確報	3月 1.0%	1.0%
	18:00	欧 CPI(前年比)・確報	3月 1.4%	1.1%
	18:00	欧 CPI(前月比)	3月 1.0%	0.2%
	21:30	米 ダドリー・NY連銀総裁 講演	-	-
4月19日	03:00	米 ベージュブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.60-107.20	1.2340-1.2420	132.00-132.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は膠着感の強い展開となった。本日のドル円は上値重く推移しそうだ。昨日は好調な米企業決算等を背景に、リスク回避姿勢が後退する中、ドル円の上値は限られた格好となった。背景には、日米首脳会談への警戒感があつたと言えるが、通商問題については直ぐに解決するような類の問題では無く、加えて隣国の地政学リスク、また足許連日のように取り沙汰されている本邦政治スキャンダル等からアベノミクス継続に対する警戒等、どの問題も不透明感を完全に払拭することは難しいものばかりであり、引続きドル円の重しとなろう。

東京	オセアニア時間のドル円は107.16を付ける場面も見られたものの、そのまま上値を試す展開とはならず、107.06レベルで東京時間オープン。仲値にかけて107円台で推移していたドル円は、日米首脳会談の行方やトランプ米大統領による突発的な発言への警戒感から上値は重く、仲値後に106.97まで下落。その後は軟調推移していた日経平均株価が反発する中、107.09まで値を戻す展開。しかし短期筋を中心に日米首脳会談後の円高進行懸念が強く、一時106.92まで続落し、結局106.95レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.95レベルでオープン。中国が乗用車合弁の外資出資制限を2022年に撤廃し、2社を超えた設立を認めると発表されことからリスク選好度が上昇。さらに4月日銀展望レポートで、日銀物価上昇率が目標の2%に達する時期について、現在の「2019年度ごろ」との見通しを据え置く公算が大きいと関係筋から伝わると、107.10円まで上昇し、そのままのレベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2384レベルでオープン。米欧通商摩擦やシリア情勢が中東での紛争に波及する可能性などに対する警戒感から、独4月ZEW景気期待指数が12年11月以来の低水準になったことで、1.2362まで低下し、1.2367レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.4340レベルでオープン。英失業率が4.2%と40年超ぶり低水準に改善したものの、英3月CPIの発表を翌日に控える中で実質賃金の観点で注目されていた英12-2月の賃金の伸びが前年比2.8%増となり、予想の3.0%増を下回ったことから、1.4306まで下落。1.4336レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は日米首脳会談を控えた警戒感から107円を挟んで方向感なく推移し、107.10レベルでNYオープン。米メディアのインタビューでムニューシ財務長官が「トランプ大統領が通貨切り下げゲームに言及した16日のツイートは、中国とロシアに対する『警告(warning shot)』であり、ドルの押し下げを意図したものではない」と述べたことや、この日発表された米指標が予想を上回る良好な結果となったことを受け、ドル買いが進行。好調な米企業決算にもサポートされ、リスクオン地合が高まるなか、ドル円は海外時間の高値を上げ107.21まで上昇。その後、外ロ米国家経済会議(NEC)委員長による「政府はロシアへの追加制裁を検討している」との発言や、エバンス・シカゴ連銀総裁の「インフレ目標2%の達成は楽観しているが、その水準を上回るような強い圧力はあまりみられない」といった発言が意識され、ドルの上値は抑えられたが、海外時間安値でサポートされ、引けにかけて小幅に戻し、107.00レベルでクローズ。ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁は、インフレ見通しについては楽観的な見方を示しつつも、貿易戦争を巡る懸念だけでも景気見通しには非常にマイナスとなると指摘した。なおIMFは最新経済見通しを公表、18年と19年の世界成長率見通しは3.9%に据え置いたが、米国見通しについては、減税実施を踏まえて18年、19年共に0.2ポイント上方修正した。またこの日開始された日米首脳会談について、トランプ大統領は「安倍首相と北朝鮮、貿易、軍事を話し合った」と述べた。ユーロドルは1.2367レベルでオープン後、ドル買いが強まる中1.2336まで下落したが、引けにかけて回復し、1.2370レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田才・鶴田